

# 8・16宮城地震

災害発生日 平成17年8月16日

主な被災地 東北・関東地方

## 帰省シーズンの東北地方を直撃 1978年の宮城県沖地震をほうふつ

お盆休みの東北地方。帰省や休暇を楽しむ人々を大地震が襲った。1978年に27人の犠牲者を出した宮城県沖地震をほうふつさせるマグニチュード7.2の地震は、交通機関の大きな乱れと憩いの施設の破壊をもたらした。

人的被害は負傷者100人。

住家被害は全壊1棟、一部破損984棟。

### 宮城県沖地震の再来に備え 緊急地震速報も発信された

8月16日11時46分頃、宮城県牡鹿半島沖東南東80km付近を震源（深さ約42km）とするマグニチュード7.2の地震が発生した。宮城県川崎町などの南部で震度6弱、同県北部、岩手県内陸南部、福島県中通りなどで震度5強を記録した。また、宮城県沿岸では津波注意報が発令された。宮城県では1978年、27人の命を奪った「宮城県沖地震」が起きている。

今回の地震では、気象庁が実用化に向けた検証のために2004年2月25日より試験運用を行っている「緊急地震速報」が提供された。震度6弱を観測した川崎町では地震で揺れる約22秒前、震度5強を

観測した仙台市および石巻市ではそれぞれ約16秒前および約10秒前に「緊急地震速報」の第1報が提供されている。

### 新幹線運休などで帰省客混乱 遠く埼玉県でも民家全壊

地震が発生した8月16日はUターンラッシュのピークを迎えていた。東北、山形、秋田などの各新幹線は運転を見合わせ、車内に乗客が最長で約8時間閉じ込められるなどの事態が起きた。東北地方の新幹線だけでなく、上越、長野、東海道の各新幹線も地震直後に運転を中止。道路では東北自動車道の浦和IC - 加須IC間など上下線が2時間近くにわたって閉鎖されたほか、空路も仙台空港が一時的に運航を停止するなど、Uターンラッ



シの中、帰省客の足は大きく乱れた。

人的、物的ともに大きな被害を受けたのは、宮城県仙台市泉区のスポーツ施設「スポパーク松森」である。同施設は室内温水プールで、天井の大半が強い揺れではがれ落ちたため、26人の施設利用者などが重軽傷を負った。

一方、地震発生から1時間28分後に40cmの津波が観測された同県志津川町では、防災行政無線で津波に対する警戒を呼びかけ、町職員らが出動して海水浴客ら約500人を高台に避難させた。

◀地震で天井板の9割が落下したスポーツ施設（宮城県仙台市泉区）（写真提供 / 時事通信社）

地震で停止した東北新幹線から線路上に降りる乗客（宮城県仙台市）  
（写真提供 / 読売新聞社）

